## 喜楽 哀怒

江面　幸浩

# 人の役にたてる金融とは

「お客様に『ありがとうございます』と頭を下げるのが普通の営業だが、お客様から『ありがとう』と言われる営業は金融しかない」。先輩の言葉を魅力に感じ、就職先に証券会社を選んだのはバブルのピークの頃だ。ところが、入社して間もなく株価が大幅に下落したこともあり、営業時代にお客様から怒鳴られたことはあっても、お礼を言われたことは残念ながら一度もない。

最近は、比較的穏やかな市場だが、新入社員向けのセミナーに講師として呼ばれた際に「仕組債や投資信託を販売したくて金融業界に入った人はいますか？」と尋ねると、うなずく人は誰一人としていない。地域貢献や人のために働くことを目指して入社した人たちは、若い頃の私と同じように、少なからぬギャップを感じているようだ。

営業から離れ、海外勤務で上司から叩き込まれたのが、収益への徹底的なこだわりだ。金融法人から需要の高かった仕組債を小口化。本邦のリテール向けに供給し、帰国後もそれらを地域銀行など日本中に案内してまわった。昨今は商品性よりも過大な手数料やリスクにスポットが当たり、一括りに問題視されているが、当時は新たな運用機会を生み出すことにやりがいを感じていた。

数十年ぶりに営業組織に復帰し、会社方針が富裕層戦略に舵を切ったのをきっかけに改めてリテール金融の意義を考えるようになった。貧しい家庭で生まれ育った私は、有り余るほどの金融資産を抱える富裕層の資産をさらに増やすことに、まったく喜びを感じられないのだ。それはかつてスイスのプライベートバンクで働いていたころから自覚していた感情で、会社がマス層を重視しない方針を打ち出したのをきっかけに、現在の会社に身を転じた。

これまでの知識や経験を資産運用に生かしたいと模索するなかで、やっと見つけた答えが「インフレ対策」だ。

インフレはマス層から超富裕層まで、誰もが避けて通れない問題であり、とりわけ老後2000万円問題に悩む世帯は、インフレ率が2%、4%と進むと、20年後には老後3000万円問題、4000万円問題となり生活に窮してしまう。

現在、「インフレ対策なら東京海上アセット」というブランド構築を目指して商品拡充を進めている。これは、マス層の生活をお守りしたいという私の思いを込めたものだ。当社の投資信託によって、一人でも多くの販売員が、お客様から「ありがとう」と言ってもらえることがあれば、私にとってこれほどの喜びはない。

（えづら・ゆきひろ＝東京海上アセットマネジメント　執行役員・投信本部長）

## Runner

全国的な課題に事業承継の問題がある。その中で製造業の分野で独自のアプローチからこの問題に挑むのがセレンディップ・ホールディングス（名古屋市）だ。モノづくりに特化した事業投資会社として、これまでは地盤の東海地区を中心に展開してきたが、2023年は金融機関との連携などをテコに攻勢に出る方針だ。

### セレンディップHD

# 金融機関との連携で攻勢

## 年度内に事業承継ファンド

竹内在社長

セレンディップの強みは製造事業者の将来性を見抜く目利き力と言えそうだ。

アプローチも単に仲介やファンド経由の投資にとどまらない。傘下に自動車のシートやライトなど自動車関連部品をメーカーに供給するティア2クラスの製造業者をグループに直接抱え、文字通り、事業リスクを自らも引き受けている。

今月の11日には、日系のプライベート・エクイティ（PE）ファンドと共同投資していたアペックス（東京都八王子市）の全株式を取得して完全子会社化。これでセレンディップが買収した製造事業者は4社目に増えた。

八王子市の中心部から車で20分程度の閑静な住宅地にある本社に足を運ぶと、最新の3Dプリンターなどの施設を備えた複数のファクトリーが忽然と出現した。本社兼ファクトリーの建物は、一見すると趣味の良い自動車のガレージ然とした外観だが、内部では次世代のコンセプトカーなど日本の将来を占う次世代車の開発が行われている。

アペックスの主力事業は自動車部品を中心とする研究開発試作だが、1975年に創業して以来、主力事業は家電に始まり、自動車部品、医療機器、パチンコなどのアミューズメント機器の施策および製造など。時代にあわせて変わっている。

直近では2008年のリーマン・ショックなどの大きな経済イベントの際に取引停止などで経営危機に見舞われたが、窮地を乗り越えることができたのは、強みとする光学設計に関する技術がさまざまな分野で、他の領域で必要とされたためだ。失われた取引は他の分野が埋め合わせることで、創業以来赤字転落はないという。

アペックスは売り上げは数十億円の中規模企業。一般的な知名度はないが、その筋では高い評価を得ているようだ。自動車関連で傘下会社とのシナジーも検討しやすい。ファンドとの共同出資後、経営は安定している。セレンディップでは今後は国内外を見据えた事業連携展開についても視野に入る。

グループとしてリスクを取って事業承継などで取得した事業会社に投資し、次の展開を展望するセレンディップ独特の事業スタイルを評価して承継や投資先としてのコンサルティングなどで提携する金融機関も徐々に増えている。

昨年からは提携先を地盤の東海地区から広げており、8行・グループと業務提携を結ぶ。

昨年11月には名古屋銀行とそのキャピタル会社とのアライアンスに基づき、自動車の鋳造用副資材を製造・販売する三河鉱産（愛知県碧南市）に初の共同出資を実行した。グループで持つプロ経営人材の派遣機能を生かしてトップを招へい。マーケティングの専門家を派遣して経営をサポートするなど、金融機関とのアライアンスで目に見える実績も上げつつある。

この勢いをより具体化するのが今年の戦略。地域金融機とのアライアンス数の拡大とともに、複数の金融機関と組んで事業承継ファンドを、今年度内をめどに立ち上げる方針だ。グループの特色を生かし、製造業の特化型となる方向で調整している。竹内在社長は「地域金融機関では地元製造業者の抱える課題は把握していても、そのすべてで解決手段を提供するのは難しい。地域経済を支える新たな戦略であり、多くの金融機関に参加してもらいたい」と話す。

自動車メーカーの製造拠点は全国に散らばっている。その地域には、メーカーと取引のある関連事業者による企業群が形成され、多くが地域経済を支える存在だ。セレンディップでは、既存提携先に加え、現在は自動車産業が集積する地域を営業地盤に抱える地域金融機関を中心参画を要している模様だ。

# 全国を視野 製造業中心に

**地域金融機関とのアライアンス**

| | |
|---|---|
| 20年12月 | 広島銀、ひろぎんキャピタルパートナーズと取引先企業投資先企業の経営支援で業務提携 |
| 21年3月 | 第三銀（現三十三銀）と事業承継支援に関し業務提携 |
| 7月 | 大垣共立銀グループ（銀行、OKBキャピタル）、愛知銀と事業承継支援で業務提携 |
| 8月 | 新生銀グループ（銀行、新生企業投資）と事業承継支援で業務提携 |
| 10月 | 名古屋銀グループ（銀行、名古屋キャピタルパートナーズ）と取引先経営支援で業務提携 |
| 22年1月 | 南都銀グループ（銀行、南都コンサルティング）と共同投資、投資先の経営支援などで業務提携 |
| 3月 | 山形銀グループ（銀行、やまがた共創キャピタルパートナーズ）と業務提携 |

今月アペックスがグループ入りした

# 海外「銀行サービス」はいま

415

## フィンテック最新事情㉗3

K.Namba

## 2023年フィンテック10大予測　その1

「2022年の世界経済の混乱は、フィンテックの進歩とイノベーションを止めることはなかった。2023年もフィンテックのイノベーションと成長の年となる。フィンテックは、ビジネスの成長と国境を越えたシームレスな拡張を可能にする重要な歯車であり、エキサイティングでダイナミックなセクターであり続けている。そして、2023年も同様にエキサイティングな年になることが約束されている」との書き出しでFintech Futureが22年12月29日付で〝2023年フィンテック10大予測〟を報道した。その内容を2回に分けて紹介する。

No.1：エンベデッドファイナンスが国境を越えた商取引を可能にする。

世界経済が停滞する中、企業は場所や規模に関係なく、持続的な成長と新規顧客を求めている。組み込み型フィンテックは、規制と決済ネットワークの間を取り持つ役割を果たす。どこの国の企業でもより速く、安く、簡単に取引ができるようになり、国境を越えて事業を拡大し、新しい市場や顧客を獲得できるようになる。2023年には、より多くの非金融機関が金融サービスを商業的提供の一部として組み込むようになる。

No.2：ネオバンクとしてのスーパーアプリ。

イーロン・マスクは、ツイッターの買収は、「スーパーアプリ」（傘下の複数の異なるアプリ/サービスをカバーするアプリ）の作成という、より広い計画の一部であると述べている。スーパーアプリの採用を促進する鍵を握るのは、タクシーやフードデリバリーではなく、プラットフォームとしての融資に加え、ネオバンクの役割を果たす。顧客に対してより幅広い金融サービスを提供することで従来の銀行とデジタル銀行の両方に挑戦することができる。

No.3：スマートなアイデンティティ（個人認証）が徐々に実現する。

デジタル・アイデンティティ・ネットワークの発展は遅れているが、2023年にはその勢いが増し、より多くの国の個人や企業がデジタルプラットフォームを通じて顧客情報（KYC）検索を簡単に行うことができるようになると考えられる。これにより、顧客獲得と顧客加入が加速され、すべてがシームレスに機能することを前提に、デジタル認証に対する信頼が構築される。特に、決済詐欺が多発している地域や、仮想通貨のように規制が緩やかな業界では、サービスプロバイダーがいない事が普及の大きな妨げになっている。

No.4：暗号資産の新たな夜明け。

仮想通貨は、そのボラティリティと市場規制の欠如により、貨幣に代わるものとしてまだ適切であるとは証明されていない。しかし、最近話題になった暗号資産の大惨事は、どこに属し、どのように使用されるかを再評価するきっかけとなりました。Crypto 2.0には懐疑的な意見もありますが、将来性はある。例えば、ステーブルコインは日常的な決済の代替となる可能性があり、現在、世界中の多くの政府が注目しています。同様に、マスターカードなどの決済大手を含め、仮想通貨を研究する企業も増え、現在では決済手段として受け入れている企業もある。これらの企業の参入は、コンプライアンスとリスクツールの強化に向けた動きを加速させることにつながる。

FINTECH FUTURES

2023年のフィンテックはよりエキサイティングに

No.5：マルチカレンシー・トレジャリー・ソリューションの台頭。

海外進出を目指す中小企業は、クロスボーダー・ビジネスを簡素化できる資金管理システムを必要としている。23年の事業戦略では、多通貨対応のトレジャリー・ソリューションが重要な位置を占めると予想される。このソリューションにより、国際的な事業展開や海外進出を目指す企業は、国や通貨をまたがる複数の銀行関係や支払先、資金フローの管理に伴う複雑さや不満、追加費用を抱えることなく、グローバルな資金管理を行うことができるようになる。

## 佐藤一斎の悩み

（34）

みの　ごさく
にしぼりみほこ画

### 愛弟子を切る

一斎は思い悩んだ。大学頭兼昌平校塾頭である林述斎は、もともと一斎の主君筋にあたる。その林述斎の実子である鳥居耀蔵が仕組んだ「蛮社の獄」と、愛弟子の渡辺崋山の投獄をいかに考えるべきか。述斎は主君であるばかりでなく、林家の塾をこれまで一緒になって盛り立ててきた同志である。渡辺崋山に対する嫌疑や判決は、水野忠邦をはじめとする幕閣の判断であり、鳥居らに指示して今回の疑獄を引き起こしたことには、幕閣のそれなりの理由があるに違いない。

一斎は国際情勢についてもわかっており、中国がアヘン戦争でイギリスに敗れたために大変なことになっていることも知っていた。もし日本が西洋列強から自由貿易などや開国、開港を迫られたらどうなるか。島国で小国の日本は、200年余りの鎖国を続けてきており、英、米、仏などの列強に抵抗する国力、軍事力はなく、日本の領土、いやその存続すら危ういかもしれない。今は国力が回復向上するまでの時間稼ぎが必要だ、と考えた水野忠邦の政策は現状では妥当なものだと言わざるを得ない。

また、鳥居耀蔵は筋書きに基づくおとり捜査や拷問など、やり方は汚いが、仮にも自分の主筋にあたる林述斎の実子と聞いている。この際は、自分の弟子であるとは言え、渡辺崋山に泣いてもらうしか方策がない、と決断した。そして助命嘆願に動くことを断るとともに、昌平校の門弟名簿から渡辺崋山の名前を削除することにした。

後年、愛弟子渡辺崋山に対する一斎の仕打ちとして、あまりにひどいではないか、という批判が高まった。「知行合一」どころか「言行不一致」も甚だしい、というのだ。筆者も一斎の苦衷は十分にわかるものの、陽明学者としてはもの足りないし、何とか裏で手を回すなど方策を考えるべきではなかったか、と思う。

ただし、一斎は西洋を蛇蝎（だかつ）のごとく嫌い蘭学を弾圧しようとする守旧派の考えに、同調していたわけではない。また、攘夷派に対しても「外国船打払令」などは、外国からの使者に対して矢を放つこと自体が国家としての「徳」の薄いことを示すものだ、と批判している。時はまだ幕末に至るまでに20年ほどの間があり、この時点では渡辺崋山を救うまでには機が熟していなかった、と言えよう。

渡辺崋山は田原藩に蟄居している間に、藩内のお家騒動に巻き込まれる形となり、藩主を問責したという理由で自刃に追い込まれた。1841年、49歳だった。

## 週間ベストセラー

| 総合 | 文庫 |
|---|---|
| ①くじら&Co.ビッグ（454円　デアゴスティーニ・ジャパン） | ①荒ぶるや　空也十番勝負（9）（佐伯泰英　770円　文藝春秋） |
| ②NHK大河ドラマ・ガイド　どうする家康　前編（古沢良太 NHKドラマ制作班ほか　1,200円　NHK出版） | ②小説　すずめの戸締まり（新海誠　680円　KADOKAWA） |
| ③ポケットモンスター スカーレット・バイオレット 公式ガイドブック 完全ストーリー攻略（元宮秀介 ワンナップほか　1,400円　オーバーラップ） | ③傲慢と善良（辻村深月　810円　朝日新聞出版） |
| ④かんたん家計ノート　2023（講談社　500円　講談社） | ④かがみの孤城（上）（辻村深月　780円　ポプラ社） |
| ⑤変な絵（雨穴　1,400円　双葉社） | ⑤かがみの孤城（下）（辻村深月　780円　ポプラ社） |
| ⑥Among Us フィギュアキーチェーン 追放ver.（500円　デアゴスティーニ・ジャパン） | ⑥三千円の使いかた（原田ひ香　700円　中央公論新社） |
| ⑦シンプル家計ノート　2023（273円　オレンジページ） | ⑦希望の糸（東野圭吾　880円　講談社） |
| ⑧神宮館九星本暦　令和5年（神宮館編集部　600円　神宮館） | ⑧わが殿（上）（畠中恵　670円　文藝春秋） |
| ⑨明るい暮らしの家計簿　2023年版（820円　ときわ総合サービス） | ⑨わが殿（下）（畠中恵　700円　文藝春秋） |
| ⑩変な家（雨穴　1,273円　飛鳥新社） | ⑩母性（湊かなえ　630円　新潮社） |

1月10日（日販調べ）

## 書籍

### 暗記では太刀打ちできない

## 中学入試 超良問で学ぶニッポンの課題

おおたとしまさ編著　中公新書ラクレ（946円）

私立中学の入試問題文（社会科）が力作ぞろいで驚く。検定教科書ではきっと書けない内容もある。受験生に一番考えてほしいテーマを選んで、教師はオリジナルの問題文を執筆する。「今の社会はここがおかしい。ここを変えていかなきゃいけない。そのためにはどんな方法があるのか」という問題意識を込める。

たとえば外国人労働者に関する設問。多くの外国人が働くコンビニでのシーンから問は始まる。日本が東南アジアで植民地支配を行っていたころの歴史をさかのぼりながら、その経緯からさまざまな立場の外国にルーツを持つ人々が日本社会の中に溶け込んで暮らしていることを解説する。

そのうえで「日本に働きに来た外国人とその家族の人権を守るためには、どのような政策や活動が必要だと考えられるか。君が考える政策や活動の内容とそれが必要である理由を80～100字で説明しなさい」と求める。

自分の考えを書かせるわけだから、あらかじめ決められた正解なんてない。知識の暗記では到底太刀打ちできない。その場で誠意を込めて自分の考えを書くしかない。先生が思いの丈をぶつけた文章に受験生が先進誠意応える。

プロの家庭教師は「本書に登場する問題文は国語の評論文として出題されてもおかしくないクオリティー」という。正解のない世の中で自分なりの考えを記述する中学入試の問題はハイレベルであり、大人も思考を巡らせる。（緒）

### 玉入れ10個の猛者

## プリズン・ドクター

おおたわ史絵著　新潮新書（968円）

映画にもなり話題を呼んだ獄中記「塀の中の懲りない面々」。平凡な暮らしとは無縁の檻の中。懲役たちの多彩な犯罪歴と生活ぶりに腹を抱えた。

中でも印象に残っているのが「玉入れ」。歯ブラシの柄を切って丹念に磨き玉に仕上げ、イチモツをグサッとやって埋め込む。想像するだけで身の毛がよだつ。そんな我慢強さがあるなら犯罪に手を染めるのも自制できたはずだ。

テレビやラジオ番組でも活躍する女医の著者。後を継いだ父親の医院を閉め、現在の本職は法務省矯正局医師。つまり塀の中の診察医。そこには独特の仕組みが存在するようだ。

カルテには一般の病院にはない刺青、手指の欠損具合、注射痕の有無などが記される。抗争や仁義を欠いた際のけじめの指詰、薬物中毒、そんな特殊人物が集まっているのが刑務所。そしてやはりここでも登場する玉入れ。10個以上埋め込んだ猛者もいるというから驚く。不衛生で黴菌が入り炎症を起こせば激痛。ばれたら懲罰。でもすることがないからやる。

矯正局医官には刑務所での食事を味見する「険食」の業務がある。くさいメシどころか麦飯で健康食らしい。

紹介されているメニューにはサバの味噌煮やエビとブロッコリーの炒め物、鶏肉の甘露煮と何やら豪勢だ。独り者の評者が普段頂いている冷え切ったコンビニ弁当より数段格上。それにきっちり三食、税金なのでタダ。だからと言って塀の中は御免こうむりたい。（岡）